

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 113-8602
住 所 東京都文京区千駄木1-1-5
氏 名 学校法人 日本医科大学 印
理事長 赫 彰郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 日本医科大学		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市中原区小杉町1丁目396番地		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,321 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	資材課
		所在地	神奈川県川崎市中原区小杉町1-396
	電話番号		044-396-8084
	FAX番号		044-733-5291
	メールアドレス		0

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度平成22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等）

（1）温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排 出 量	(実) 4,079 t-CO ₂ (調) 3,491	(実) 3,999 t-CO ₂ (調) 3,377	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 3,956 t-CO ₂ (調) 0
削 減 率		(実) 2.0 % (調) 3.3	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量			単位		
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値					
削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	熱源機器の更新に伴う運用方法の見直し、管理部門等の空調温度設定の緩和、更新機器の省エネ化等により2%削減することが出来た。
第 2 年度	
第 3 年度	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	○推進体制の整備 ○外部部機関の利用等 ○主要設備等の保全管理 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 ○空気調和の管理○新設、更新等における措置（照明器具、給湯器、複写機、電子計算機等）
	第 1 年度	○主要設備等の保全管理：メーカーによる点検報告書の整備を行った。 ○外部機関の利用等：保守点検検討に合わせた省エネアドバイスの実施 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理：BEMSデータを対策立案のための基礎データとして利用した。 ○空気調和の管理：管理部門の設定温度の緩和を行った。 ○新設、更新等における措置：更新した機器（照明器具、複写機、電子計算機等）においては省エネ型機器を導入した。
	第 2 年度	
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	なし
	第 1 年度	なし
	第 2 年度	
	第 3 年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギー利用に対する指針等は現時点ではないが、今後、省エネ会議等で導入の可能性を検討する予定。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
	なし		

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
	なし		

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	○エネルギーの使用の合理化に関する法律の準拠による管理の徹底 ○廃棄物の分別の徹底による総量削減 ○敷地内の植栽の管理 ○病院職員の公共交通機関での通勤の徹底
第1年度	○廃棄物の分別の徹底による総量削減を行い一般廃棄物に関して前年度比4.9%の削減を行った。(H21年度: 281.5t→H2222年度: 267.7t) ○敷地内の植栽の管理を徹底し年1回以上の剪定を行った。 ○病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,775	t-CO ₂
(調)	3,341	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市中原区小杉町1-396	8311	一般病院	3,775 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数